

平成25年度 新潟市生徒指導部 活動報告

部長 伊藤 秀昭(新潟市立白根小学校)

1 研究主題

“心を育てる” ～かかわり合い、共に育つ集団を目指して～

2 研究の概要

子どもたちの思いやりの心や人間関係を形成する力の低下が指摘されている。このような課題を受け、子どもたちの支援に必要な児童理解の視点や具体的な支援方法について研修を深めた。研修の概要は以下の通りである。

- ・支援に必要な児童理解の視点や具体的な支援方法について、講演や演習を通して理解を深める。
- ・授業研究によって、実践イメージを明確にもつ。
- ・レポートを持ち寄り、個々の実践を検証し共有する。

3 事業の実際

- 5月 ・今年度の研修計画づくり
- 6月 ・今年度の年間活動計画の確認
 - ・講演「コラージュ療法の理論と実際
～まずは教師がコラージュを作ってみよう～」
講師 新潟市立万代長嶺小学校教諭 門野 慎一 様
- 7月 ・講演「学校に行きたい気持ちをどこでつくるか？
～不登校への対応の課題を考える～」
講師 新潟市教育相談センター指導主事 山田 友明 様
- 8月 ・講演「子どもの人間関係能力を育てる社会性と情動の学習 (SEL)」
講師 大形中学校教頭 中林 浩子 様
- 9月 ・実践発表検討会
- 11月 ・研究授業 (1学年)
「“わ”になれタイム ～自分はどんな気持ち？～
社会性と情動の学習の理念に基づいた単元学習」
授業者 新潟市立小瀬小学校教諭 本間 浩之 様
- 12月 ・講演「10歳前後の子どもたちの心理 ～だから社会性と情動の学習～」
講師 新潟市立結小学校主幹教諭 小坂井秀行 様
- 1月 ・講演「援助希求と教師の対応力
～コミュニケーション力をアップするための演習～」
講師 新潟市教育相談センター指導主事 山田 友明 様
- ・今年度の研修の振り返り
- 2月 ・今年度の活動の反省

4 成果と課題

(1) 成果

- ・専門的な心理療法、先進的な社会性と情動の学習、不登校や児童との関係づくり等について、講義と演習により理解が深まった。
- ・理論と実践を関連付けた研修を実施することにより、参会者の実践意欲が高まった。
- ・研究授業では、先進的なSELの理念に基づいた学習について、低学年における効果や可能性について検証することができた。
- ・生徒指導上の実践事例や問題事例を互いに持ち寄り検討することで、効果的な対応について共有することができた。

(2) 課題

- ・今後も子どもの実態や生徒指導の動向を踏まえ、専門的な理論や実践方法を学ぶ機会を確保し、「課題解決的な指導」「予防的な指導」「成長を促す指導」のそれぞれの切り口で、より一層実践を積み重ねていくことが大切である。